

# 委託事業実施内容報告書

## 平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【退職教員を対象とした日本語指導者養成】

受託団体名 社団法人 国際日本語普及協会

#### 1 事業の趣旨・目的

外国人登録者数は年々その数を増し、生活者としての外国人が抱える様々な問題が浮き彫りになっている。なかでも、次世代を担う子どもたちの教育の問題は軽視できない。子どもたちの指導者の養成は必須の課題である。退職教員は教科内容や学校文化に精通しているばかりでなく、学校側からの信頼も高い。退職教員に日本語指導・教科指導を必要とする子どもたちへの指導体制と指導の方法を知ってもらうための講座を組み立てた。

#### 2 企画委員会の開催について

##### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
平成 21 年 10 月 6 日(火)	(社)国際 日本語普 及協会	運営委員 5 名	退職教員を対象とした年少 者日本語指導者養成講座 の内容検討	現在の子どもたちの置 かれている現状。 退職教員の研修の特長
平成 22 年 2 月 2 日	(社)国際 日本語普 及協会	運営委員 5 名	講座終了に当たって、反省 と今後の課題	講座を振り返り、問題 点、今後の課題を検討

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)

##### 運営委員

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所 野山広

(社)国際日本語普及協会 地域日本語教育担当理事 関口明子

常務理事 吉田依子

教師会員 内田雅子

教師会員 赤木朋子

### 3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 退職教員を対象とした年少者日本語指導者養成講座
- (2) 養成講座の目標 日本語教育の視点を理解してもらう。外国人児童生徒の指導においてこれまでの教授経験を生かし、さらに、どのような点に留意する必要があるか、具体例を提示し、理解を深めてもらう。

(1) 受講者の総数 \_\_\_\_\_ 5人(開始時は6人だったが、辞退者1名)

(2) 開催時間数(回数) \_\_\_\_\_ 39 時間 ( \_\_\_\_\_ 13 回)

(3) 参加対象者の要件 退職教員

(4) 受講者の募集方法

社団法人国際日本語普及協会 ホームページに掲載

社団法人日本語教育学会 ホームページに掲載

東京都 23 区と市の教育委員会にチラシを郵送

墨田区、中央区等の養成講座会場でチラシを配布

知人の退職教員に直接チラシを手渡す

(7) 研修会場 社団法人国際日本語普及協会事務所

(8) 使用した教材・リソース

法務省 『在留外国人統計』

『五十音図の話』 馬淵和夫 大修館書店

『教師日本語教育ハンドブック6発音(改訂版)』 今田滋子 凡人社

『中国語はじめの一步』 木村秀樹 ちくま書房

『日本語の発音教室』 窪園晴夫監修 くろしお出版

『1日10分の発音練習』 河野俊之 串田真知子、築地伸美、松崎寛 くろしお出版

『日本語教授法ワークショップ』 増補第2版 鎌田修、川口義一 凡人社

文部科学省 JSLカリキュラム

連続セミナー「多文化共生“最前線”2008！！」報告書DVD NPO多文化共生リソー

スセンター東海

『ゼロからスタート日本語会話』 Jリサーチ出版

『にほんごだいすき』 テキスト ワークブック むぎ書房

『文章を理解するとは』 甲田直美 スリーエーネットワーク

『自然な日本語を教えるために』 池上嘉彦、守屋三千代 ひつじ書房

『ゴイタツ日本語教師を目指せ』 大森雅美、鴻野豊子 アルク

『いちょう団地発！外国人の子どもたちの挑戦』 清水睦美 岩波書店

『日本語教育のためのQ&A』 泉原省二 研究者

『かんじだいすき』 (社)国際日本語普及協会

『ようこそ！さくら小学校へ～みんななかまだ～』 (社)国際日本語普及協会

## (9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
10月17日 13:00～ 16:00	全国の状況	社団法人国際日本語普及協会 常務理事 吉田 依子	6名
10月24日 13:00～ 16:00	全国の状況と外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語支援	社団法人国際日本語普及協会 地域日本語教育担当理事 関口 明子	4名
10月31日 13:00～ 16:00	国語教育と日本語教育	社団法人国際日本語普及協会 教師会員 斉藤 幸子	3名
11月7日 13:00～ 16:00	日本語を振り返る	社団法人国際日本語普及協会 対象別教育養成部副部長 内海 美也子	4名
11月21日 13:00～ 16:00	日本語の捉え方①	社団法人国際日本語普及協会 教師会員 萬納 恭子	3名
11月28日 13:00～ 16:00	日本語の捉え方②	社団法人国際日本語普及協会 教師会員 見滝 智子	4名
12月5日 13:00～ 16:00	外国語体験	社団法人国際日本語普及協会 総務広報部長 楫 光可	5名
12月12日 13:00～ 16:00	年少者への具体的な指導法①	社団法人国際日本語普及協会 教師会員 赤木 朋子	5名
2月19日 13:00～ 16:00	年少者への具体的な指導法②	社団法人国際日本語普及協会 教師会員 赤木 朋子	5名
1月9日 13:00～ 16:00	年少者への具体的な指導法③	社団法人国際日本語普及協会 教師会員 内田 雅子	4名

1月16日 13:00～ 16:00	年少者への具体的な 指導法④	社団法人国際日本語普 及協会 教師会員 内田 雅子	5名
1月23日 13:00～ 16:00	支援を受けた立場か ら	社団法人国際日本語普 及協会 地域日本語教 育担当理事 関口 明子 チューブ・ソッコーン氏	5名
1月30日 13:00～ 16:00	まとめ、質疑応答	社団法人国際日本語普 及協会 常務理事 吉田 依子	4名

(10) 講座の評価

受講生に対するアンケート 研修内容の総合評価は「大変良かった」と「良かった」で100%となっている。詳細は別添報告書参照。

(11) 事業の成果

研修後の人材活用

在住地域ボランティア教室を紹介。

現在、AJALTが神奈川県で行っている親子の日本語教室を紹介。参加を促した。

(12) 今後の課題

外国人児童生徒に対する日本語指導の充実は子どもたちの将来を豊かなものにするだけでなく、ひいては日本社会の充実と安定にもつながる大変重要なことだと考える。国や教育委員会の対応を待っている間に子どもたちは日々成長していく。日常会話に苦勞をしていないように見える子どもたちも学校での教科学習にはついていくことができず、不登校になったり、不良化するなどの事態を引き起こしている。一人でも多くの日本人がともに生きていく外国人としてボランティアの精神を持っていただくことも重要なことだし、とりわけ、教育の現場に身を置き、子どもたちの習得に知識と関心を持っている退職教員の方には今後も何らかの形で日本語指導に関わってもらいたい。教育委員会やNPO法人など具体的な指導の現場を持っている組織と連携して、この研修を進めていきたいと考えている。